

ふくい女性ネット REPORT

ふくい女性ネットとは…

県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。
http://pref.fukui.lg.jp/doc/danken/f-net.html

第7期の活動も秋になり、仮想プロジェクトもいよいよ本格始動！ 企画提案の実践的な技術を新たに学び、プロジェクト成功に向けて、各班が熱い取り組みを行っています。

今回は、10月に開催した「J-Win・ふくい女性ネット連携フォーラム」の内容と、11月に行われた「マーケティング」講座、12月に行われた「企画立案とプレゼンテーション技術」講座の様子をレポートします。

J-Win・ふくい女性ネット連携フォーラム 2014 自分らしく輝き続ける働き方 ～4人の素敵女性に学ぶ～ 主催：福井県、共催：NPO 法人 J-Win、企画運営：ふくい女性ネット

平成26年10月26日(日)、ユー・アイふくいにて、J-Win のメンバーを講師にお招きし、パネルディスカッション・分科会・全体会の3部構成で開催しました。

パネルディスカッション

モデレーター	トランスコスモス(株)	江浪まつみ さん
パネリスト	(株)ジェイティビー	大木 実和 さん
	(株)NTT マーケティングアクト	児玉美奈子 さん
	(株)日立ソリューションズ	久永 美砂 さん

4名それぞれのキャリア年表・人生の転機や仕事のやりがいについてお話しいただきました。分岐点に立った時に何を優先・大事にして検討するのか、また周りの協力を得ながら仕事と家庭を両立する事の大切さなどを改めて考えさせられました。参加者は耳を傾けながら自分を振り返る場となりました。

(小川こ)



パネルディスカッションの様子

分科会

分科会では、J-Win の講師を囲んで少人数で活発な意見交換が行われました。講師から詳しい仕事内容、やりがい、家庭と仕事の両立の秘訣などの話を伺うとともに、仕事の悩みに答えてくださいました。たとえば、リーダーの役割に悩んでいるという相談に、講師から「短時間勤務でも生産性を上げるために、こまめにコミュニケーションをとり、目標を全員で共有することが大切」とのアドバイスがありました。まだまだ話し足りないと思える時間となりました。

(佐藤)



第2班(大木講師)の分科会の様子

全体会

全体会では各分科会に参加した感想を発表しました。「仕事も家庭も100%というのは無理。長い人生の中でバランスをとっていけばよい。」「足踏みしてばかりでなく、前向きに行動しなければならない。」それぞれの意見に、とても共感しました。

続いて4人の講師から講評をいただきました。「みなさんがいろいろなタイミングで悩み、自分なりに消化して解決している。このようなフォーラム開催はとてもよいことであり、女性に生まれたからには、他の人から素敵と思われる人になってほしい。」などの講評をいただき、「J-Win・ふくい女性ネット連携フォーラム 2014」は参加者にエールを送り合う拍手で終了しました。

(森岡)



全体会(感想発表と講評)の様子



仮想プロジェクト② 「マーケティング チーム協働力を養う」



講師の方のアドバイスを受ける様子

平成26年11月13日(木)、一般社団法人日本経営協会の加藤奈穂子氏を講師に迎え、「マーケティング」講座が行われました。

マーケティングの基礎と市場情勢を学んだ後、アイデア先行型のマーケティングを実践しました。まずは、ブレインストーミングやカードシャッフル、未来ニュースというやり方を用いて、各グループで自由なアイデアを出し合いました。

マーケティングの基礎である、コラーの定義「顧客の価値と満足を理解し、創造し、伝え、提供すること。」

を考えながら話し合うことで、今までとは違う視点・考えの意見が出てきました。「マーケティングとはメッセージの伝達」であることを学び、メッセージ作りの大切さを改めて実感しました。

プレゼンテーション発表会に向けて、この講義で学んだマーケティング、チーム協働力を活かして、企画を作り上げていきます。(藤木)



アイデアを出し合い、話し合うメンバー



仮想プロジェクト③ 「企画立案とプレゼンテーション技術」



平成26年12月16日(火)、前回に引き続き、加藤奈穂子氏を講師として、マーケティングから企画立案までを実践しました。

11月の講義で各班が考えた、今年の仮想プロジェクトのテーマである『さといも』に係るアイデアを、SWOT 分析やクロス SWOT 分析など様々な方法を使い、アイデアを補強し、企画として練っていきました。この分析を重ねていくことで、企画として成り立たないアイデアが分かり、一つのアイデアに絞り込んでいくことができました。

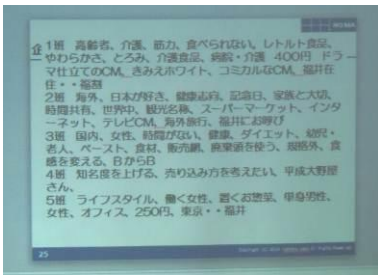


分析した内容を企画にまとめる様子

講義の最後に、各班の企画内容の概略を発表。講師から、その企画をさらに具体化させ、市場に出せる大きなプランとするためのヒントをいただきました。

ヒントを参考に、来年1月のプレゼンテーション実践に向け、各班で企画を作り上げていきます。(塚崎)

← 各班の企画のキーワード



編集後記

J-Win 連携フォーラムは実り多い1日でしたね。J-Winの講師のみなさん、参加者のみなさん、ありがとうございました。仮想プロジェクトは、各班の企画内容の方向性も定まり、これからはプレゼンテーション内容の作成です。メンバー同士協力し合いながら、発表に向けて楽しく頑張っていきます！(佐藤)

ふくい女性ネット (第7期) 参加企業 : ふくい女性ネットの趣旨にご賛同いただいた企業

株式会社アイビックス
株式会社大津屋
株式会社信越マグネット
株式会社東洋アライアンス
福井県
学校法人福井仁愛学園
福井鋸螺株式会社
松文産業株式会社

株式会社アスワ村田製作所
株式会社 GAIA
株式会社 SHINDO
永森建設株式会社
(公財) 福井県文化振興事業団
株式会社福井新聞社
株式会社 PLANT
ミリオン協同組合

株式会社エイチアンドエフ
勝山市
第一織物株式会社
株式会社ネスティ
福井県民生活協同組合
国立大学法人福井大学
株式会社ブリッジ
(30社 50音順)

越前町
株式会社キタジマ
NPO 法人男女平等推進協会えちぜん
福井赤十字病院
福井商工会議所
福井経緯興業株式会社
北陸電力株式会社福井支店